



Park-PFIによる公園の賑わいづくり ～スターバックス@県立敷島公園がオープンしました!～

群馬県 県土整備部 都市計画課

■ 制度概要

公募設置管理制度(以下「Park-PFI」という。)は、平成29年都市公園法改正により創設された新しい制度です。民間資金や運営等のノウハウを活用することで、自治体の財政負担を減らしつつ、公園利用者の利便性の向上を図るとともに公園の賑わいを創出することが可能となっています。

具体的には、公園利用者の利便性向上に資する収益施設(飲食店・売店等)の設置管理と当該施設から生じる収益を活用して、その周辺の園路等の公園施設の整備・改修等を一体的に行う民間事業者を、公募により選定する制度です(図1、図2)。公園利用者の利便性向上に資する収益施設を「公募対象公園施設」、当該施設から生じる収益を活用して整備・改修等を行う施設を「特定公園施設」といいます。

現在、本制度を活用した事業が全国各地で検討されており、事業実施までされたものも増えています。



図1 制度概要

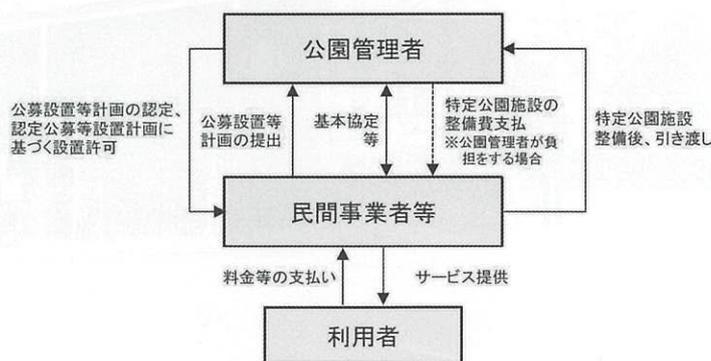


図2 事業スキーム

■ 県立敷島公園でのPark-PFI事業について

県立敷島公園は、ザスパクサツ群馬のホームスタジアムである正田醤油スタジアム群馬(陸上競技場)やプロ野球の開催実績のある上毛新聞敷島球場(野球場)等を有しており、運動施設利用者だけでも年間約66.1万人(平成30年度)の利用実績を誇る県内随一の運動公園です。

県立敷島公園では、毎年実施している公園利用者アンケートにおいて、カフェ等の休憩しながら飲食可能な施設の整備を求める意見があり、平成30年度に実施した地元アンケートでもカフェ等飲食店を求める意見が多かったです。

また、Park-PFI導入検討時において、都市公園への参画実績のある様々な業種かつ複数の事業者からヒアリングを行いました。飲食店事業者においては全ての事業者から事業への参画意向を確認することができました。

以上の理由により、公募対象公園施設としてカフェ等の飲食店を設定し事業者の公募・選定を行ったところ、平成30年度にスターバックス コーヒー ジャパン 株式会社が選定され、令和2年3月に、正田醤油スタジアム群馬の南側に位置する第一駐車場内にスターバックス コーヒー 敷島公園店がオープンしました。

群馬県立敷島公園

群馬県立敷島公園

群馬県立敷島公園

群馬県立敷島公園



位置図

■ 店舗概要

- 店舗名 スターバックス コーヒー 敷島公園店
 営業時間 8：00～21：00
 その他 ドライブスルーあり
 ※営業時間やドライブスルー営業については、敷島公園の大会やプロ試合などの混雑時には変更となる場合があります。



スターバックス コーヒー 敷島公園店(外観)

敷島公園の自然、環境、風景に溶け込むように、国内のスターバックスでは稀な木造建築が採用されており、店内のコミュニティテーブルには県産材を用いた「JIMOTO table」を設置したり、群馬県出身アーティストによる上毛三山をモチーフとした作品を掲示するなど、「公園」「文化」「地域」とのつながりを意識したデザインとなっています。

開店後、多くの利用者の方々により賑わっており、本公園の魅力がますます向上していくことと思います。是非みなさま、ご来園ください。



店舗内の様子



店内から眺望する桜